

地域を支える

民生委員らに委嘱状伝達式



民生委員・児童委員及び主任児童委員委嘱状伝達式は令和4年12月7日、総合福祉センターで行われました。

同委員は、地域住民の立場に立った手助けや、子どもの見守りなどのため厚生労働大臣、県知事から委嘱されます。立谷市長は「皆さんの仕事は、少子化や引きこもりなどの社会的課題に対応するために重要です。力添えをよろしくお願いします」とあいさつしました。

長年の活動に感謝

厚生労働大臣感謝状伝達式

民生委員・児童委員及び主任児童委員厚生労働大臣感謝状伝達式は令和4年12月13日、市役所で行われ、授受者24人が出席しました。

式で、立谷市長から授受者に感謝状、建藤洋悦市民生児童委員協議会会長から記念品が手渡された後、立谷市長は、「相馬の守り神として、長年にわたりお務めいただきありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。

注意呼びかけ
防犯パトロール

冬の防犯パトロール出発式は令和4年12月13日、中央公民館で行われ、市西部地区防犯協会の関係者ら24人が出席しました。

式で、立谷市長は「市民自らが犯罪防止に取り組むことは、地域の安全につながる大切な活動です。これからも地域のために精励ください」と述べました。

協会の会員らは3班に分かれて、田町通りや駅前などへ防犯パトロールに出発し、店舗などを巡回。
商店店主などに防犯啓発グッズを手渡し、犯罪への注意を呼びかけました。

統計調査に尽力

県統計功労者表彰伝達式

県統計協会名誉会長表彰伝達式は令和4年12月7日、市役所で行われ、立谷市長から授受者に表彰状が手渡されました。

表彰されたのは、中村貞二さん、水沼義明さんの2人。

立谷市長は、「皆さんの長年の活動に対して敬意を表します。引き続き模範となってください」とその功績をたたえ、ねぎらいの言葉を贈りました。



消防団の活動を学ぶ

八幡小消防団出前授業

消防団出前授業は令和4年12月13日、八幡小学校で同校3年生の児童23人を対象に行われました。

当日は、市消防団第6分団員の中島圭一さんを講師に迎え、消防団の仕事内容や、やりがいなどを児童に説明しました。

児童らは、消防署と消防団の違い、活動内容や役割を学び、地区への理解と消防団への関心を高めていました。



寄付・寄贈ありがとうございます

▽ADEKA



株式会社ADEKAによる寄付は令和4年12月13日、市役所で行われました。

訪れたのは、高橋真木雄相馬工場長、佐桑康太ADEKA労働組合相馬分会事務長、阿部栄洋業務課長の3人。

寄付は毎年行われており、株式会社ADEKAとADEKA労働組合相馬分会から福祉事業の充実を願って贈られたものです。

寄付を受け取った立谷市長は「毎年の寄付ありがとうございます。井戸端長屋や子育て支援として大切にに使わせていただきます」と述べました。

▽相馬仏教会

令和4年12月13日、林心澄相馬仏教会会長らが市役所を訪れ、立谷市長に寄付金を手渡しました。

訪れたのは、林会長、八幡朋行同会副会長、鈴木俊隆さんの3人。

同寄付は、歳末助け合い募金で集められたものと、市内19力所の寺で構成されている同仏教会の会費から支出されたものです。

寄付を受け取った立谷市長は「ありがとうございます。いただいた寄付金は福祉事業基金として大切にに使わせていただきます」と述べました。



▽トヨタカローラ いわき



令和4年12月14日、河口利夫トヨタカローラいわき株式会社代表取締役社長ら3人が市役所を訪れ、車いす7台を寄贈しました。

同社は、社会貢献活動の一環として、不要となったアルミホイールなどを回収して得た資金で車いすを購入し、浜通り地区の福祉施設などに寄贈を行っています。

立谷市長は「立派な車いすをありがとうございます。必要とされている方のために大切にに使わせていただきます」と述べました。

学校安全活動表彰

▽中村第一小学校

県教育委員会教育・文化関係表彰の受賞報告は令和4年12月20日、市役所で行われ、中一小地域ぐるみで見守り隊代表の青田健中村第一小学校PTA会長と渡邊義人同学校長が訪れました。

同表彰は、学校安全活動に尽くし、功績が顕著な団体に贈られるもの。

報告を受けた福地憲司教育長は受賞をたたえ、青田会長は「今後も保護者と地域と連携し、より一層活動に励みます」と今後の抱負を述べました。



▽飯豊小学校



文部科学大臣表彰（学校安全ボランティア活動奨励賞）の受賞報告は令和4年12月28日、市役所で行われ、但野直治飯豊地区安全ボランティア委員長ら3人が訪れました。

同表彰は、子どもの安心・安全な学校教育活動に貢献する優れた活動を行っている団体に贈られるもの。報告を受けた立谷市長は受賞をたたえ、但野委員長は「今後も地域の皆さんと連携しながら、子どもたちのためにがんばります」と今後の抱負を述べました。

スポーツ大会出場報告

▽バドミントン



スポーツ大会出場報告は令和4年12月13日、市役所で行われ、全国大会に出場する大宮冬真選手が立谷市長に報告しました。

大宮選手は、県小学校バドミントン連盟の推薦を受け、令和4年12月23日から石川県で開催の第31回全国小学生バドミントン選手権大会に県代表選手団の一員として出場。

報告を受けた立谷市長は大宮選手を激励し、奨励金を手渡しました。

▽バレーボール



スポーツ大会出場報告は令和4年12月14日、市役所で行われ、全国大会に出場する相馬高校バレーボール部の選手ら16人が立谷市長に報告しました。

同部は、第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会福島県代表決定戦で優勝し、1月4日から東京都で開催の全国大会に出場。

報告を受けた立谷市長は選手らを激励し、奨励金を手渡しました。

▽バレーボール



スポーツ大会出場報告は令和4年12月22日、市役所で行われ、全国大会に出場する蛭原里桜選手ら7人が立谷市長に報告しました。

選手らは県バレーボール協会から選抜選手として選出され、令和4年12月25日から大阪府で開催の全国大会に出場。

報告を受けた立谷市長は選手らを激励し、奨励金を手渡しました。

選手を代表して蛭原選手が大会への決意を述べました。

▽軟式野球



スポーツ大会出場報告は1月5日、市役所で行われ、ALL相馬の選手らが阿部勝弘副市長に報告しました。

同チームは、第6回CBS少年軟式野球「6年生選抜大会」東北ブロック大会で優秀な成績を収め、1月7日から千葉県で開催の同全国大会に出場。

報告を受けた阿部副市長は選手らを激励し、奨励金を手渡しました。

世界の豆を焙煎
中央公民館バリ
スタ講座

中央公民館「バリスタ講座（アフリカ編）」は令和4年11月25日・12月16日のうち4日間、同公民館で開催され、延べ29人が参加しました。

講師に「HANACoffee」店主の遠藤貴則さんを迎え、家庭でもできる焼き網とガスコンロを使った方法の説明の後、エチオピアなどのコーヒー豆を焙煎しました。

参加者らは、産地や焙煎具合による味の違いを実感し、自分好みの味の探求を楽しんでいました。

外国の皆さんとクリスマスを祝う

国際交流クリスマス会



国際交流クリスマス会は令和4年12月18日、総合福祉センターで開催され、親子ら約60人が参加しました。

参加した子どもたちは、本市のA.L.T（外国語を母国語とする外国語指導助手）と一緒にイス取りゲームなどで体を動かしたほか、親子でトナカイのお面などを制作して、英語に親しみながらクリスマスを祝いました。

願いを込めたカードを贈る

相馬愛育園クリスマススイベント

相馬愛育園「みんなの願いを込めてサンタさんへお願いカードを作ろう」ビッグツリーとともに」は令和4年12月10日、同園で開かれ、約60人の親子らが参加しました。

参加した親子らは、子どもたちの願いを込めたカードと1人暮らしの高齢者などにプレゼントするためのカードを制作。

プレゼント用のカードは、ビッグツリー（ペットボトルで作ったツリー）の点灯式の後、代表児童からNPO法人



ライフネットそうまの岡田泰子副理事長に贈呈されました。

楽しいクリスマス 中央児童センター おやこ教室



中央児童センターおやこ教室は令和4年12月20日、同センターで開催され、親子17組37人が参加しました。

参加した親子らは、音楽に合わせて元気に体を動かした後、職員らによるマジックショーやハンドベルの演奏を楽しみました。

続いて、サンタさんとトナカイが登場し、子どもたちにプレゼントを配りました。

動画はこちら



クリスマスの工作に挑戦

中央公民館子ども教室

中央公民館子ども教室「クリスマス工作」は令和4年12月11日、同公民館で開催され、小学生ら19人が参加しました。当日は、松ぼっくりにスプレーで色を付け、ビーズなどで飾り付けたミニツリーと柳の輪に葉や花などを自由に飾り付けたリースを作りました。参加した子どもたちは、自宅用の飾りを完成させ、一足早くクリスマスの雰囲気を楽しみました。



お菓子作りに挑戦 山上公民館 「親子クリスマスお菓子作り体験」



山上公民館「親子クリスマスお菓子作り体験」は令和4年12月17日、同公民館で開催され、親子ら7人が参加しました。

当日は、講師に千枝浩美さんを迎え、ガスオーブンを使ったカップケーキなどに挑戦。

参加した親子らは、ふわふわに焼きあがった生地に生クリームやバナナをトッピングして仕上げ、親子で楽しい時間を過ごしました。

おいしいイチゴを届ける

和田観光苺組合



和田観光苺組合によるイチゴ（章姫）の贈呈は令和4年12月20日、市役所で行われ、齋川一朗同組合組合長ら3人が訪れました。

齋川組合長は、「今期は氣候が安定し、良い出来のおいしいイチゴがたくさんできています。多くの方に楽しんでいただけるように、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりとしながら、みなさんでもてなしたい」と述べました。

イチゴ狩りのシーズン到来

和田観光いちご園オープン

市の代表的な観光名所、和田観光いちご園の開園式は1月15日、同園で開かれ、関係者約50人が参加しました。

甘酸っぱい香りの漂うハウスの中では、「章姫」や「さちのか」、「とちおとめ」などが真っ赤に色づき、訪れた人たちは笑顔で口いっぱいイチゴをほお張っていました。

動画はこちら

県知事賞受賞
愛鳥週間ポスター
コンクール

愛鳥週間ポスターコンクールの県知事賞受賞報告は令和4年12月23日、市役所で行われ、菊池慈さん（中一中3年）ら3人が福地憲司教育長を訪れました。

同コンクールは、野生鳥類の愛護を通じて自然保護の大切さの普及啓発を図ることを目的に、県が主催。

菊池さんの作品は、県内の小・中学生が応募した353点の作品の中から最高賞である県知事賞に選ばれました。

報告を受けた福地教育長は、その功績をたたえました。

令和5年初競り
相馬総合地方卸売市場

相馬総合地方卸売市場の初競りは1月5日、同市場で行われ、威勢の良い競り声が響きました。

初競り式は水産部と青果部合同で行われ、水産部の加藤邦喜相馬魚類株式会社代表取締役と青果部の菊地洋一株式会社相馬青果代表取締役がいさつし、立谷市長が祝辞を述べました。

参加した仲卸業者らは、熱心に品定めし、新年最初の魚

や野菜を競り落としました。



動画はこちら

スポーツの楽しさを伝える
Challenge Forever in 相馬

Challenge Forever in 相馬は令和4年12月11日、相馬子どもドームで開かれ、児童ら63人が参加しました。

当日は、ビーチバレーボール選手の西村晃一さん、元全日本バレーボール選手の菅山かおるさんと栗原恵さんが児童らと触れ合い、参加した児童らはバレーボールの指導を受け、楽しそうに体を動かしました。

防火への誓い新たに市消防出初式

市消防出初式は1月8日、スポーツアリーナそうま第二



体育館で開かれ、市消防団員と市女性消防隊員など関係者約150人が参加しました。

式で鎌田重昭団長が「団員一人一人が予防消防に尽力するとともに、団員としての誇りを持って活動に精励してください」と訓示。

続いて、立谷市長が「消防団と市が一体となり、地域のためにがんばりましょう。今後とも、市民生活安全のために尽力をお願いします」と訓示し、参加者は消火・防災への誓いを新たにしました。

火の用心呼びかけ市女性消防隊

市女性消防隊の冬季防火広報出発式は1月13日、相馬消防署で行われ、各地区の女性消防隊長など15人が参加しました。

出発に先立ち渡部順子隊長が「火災が発生しないよう、市民に火災予防を呼び掛けましょう」と述べ、消防署員らが、昨年の市内の火災発生状況や、予防消防活動の大切さ、新型コロナウイルス感染症対策に触れながらあいさつしました。



し、市内各地で火災予防を呼び掛けしたほか、チラシなどを配布し啓発活動を行いました。

研究の成果を報告東京農大東日本支援プロジェクト



東京農業大学東日本支援プロジェクト2022年度成果報告会は1月8日、JAふくしま未来相馬中村営農センターで行われました。

来賓として出席した立谷市長は「これまでの活動に感謝を申し上げ、今後も復興を共に推し進めていきたい」と今後の抱負を述べました。

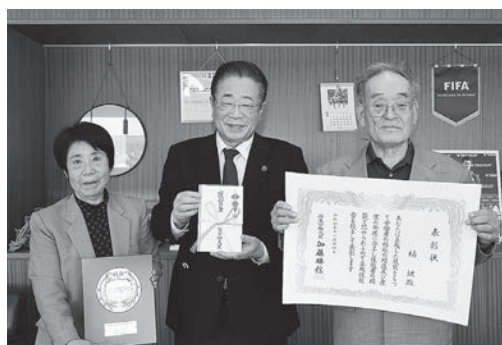
当日は、同プロジェクト代表で国際食料情報学部国際バイオビジネス学科の渋谷往男教授が、プロジェクトの経過と概要を説明したほか、6つの研究成果報告と学生による商品企画コンテストの発表などが行われました。

甲冑師として現代の名工に選出

橘斌さん

現代の名工受賞報告は令和4年12月23日、市役所で行われ、たちばな甲冑工房の橘斌さんが訪れました。

橘さんは、漆塗りや彫金など高度な技術を持ち、50年以上にわたって甲冑（かつちゅう）の制作や修理を行ってきた甲冑師で、相馬野馬追で騎馬武者が身にまとう甲冑をこれまで300余り修復し、伝統文化継承に大きく貢献していることや後進の育成に尽力していることなどが評価されました。



報告を受けた立谷市長は、その功績をたたえました。

無病息災・平穏無事を祈るどんと祭

ふるさと行事「どんと祭」



は1月14日、長友グラウンドで行われ、正月飾りなどを燃やし無病息災を祈願しました。市連合商栄会が主催。

相馬高校相馬太鼓部による演奏が披露された後、西村年晴市連合商栄会会長や、立谷市長らがあいさつ。

積み上げられた正月飾りなどは神事が行われた後に火が入れられ、訪れた人たちは燃え上がる炎を見つめながら無病息災・平穏無事を祈っていました。